

咲き誇れ! 武工魂

武工新聞
第38号



Technical
News
Paper

発行日 9月22日
発行部 武工新聞部

テーマ『武工繚乱』The dope man's

九月二十一日(火)に本校で、学校祭の結団式が行われた。本日より本格的に学校祭の準備が始まる。結団式では、各色の総団長が中心となって、各部門で優勝するために下級生に檄を飛ばしていた。下級生も代表者の言葉に士気を高めていた。

今年も学校祭の季節がやってきた。九月二十一日、本校の学校祭結団式が行われた。それぞれの色が第一体育館、第二体育館に集合し、総団長の第一声で結団式が始まった。それに引き続き、各部門責任者が抱負を語り、各色とも学



← 団結する黒組
↓ 紫組団長の挨拶



↑ 青組代表の挨拶
赤組代表の挨拶→



校祭への決意を新たにしたい。今年の学校祭のテーマは『武工繚乱』The dope man's。テーマの由来を学校祭総責任者である生徒会長の三田村光さん(3-1)に聞いた。

メインテーマとなる『武工繚乱』は、四字熟語の『百花繚乱』をもじっており、『生徒を咲き乱れる花に見立てた』テーマだ。サブタイトルの『The dope man's』は三田村さんが一番こだわった部分でもある。このテーマには両方とも『学校祭を大きく盛り上げていこう』という意味が込められており、三田村さんを始め、生徒会の意気込みが感じられた。

今年の学校祭では『みんなが『楽しかった』と言える学校祭を目指している。全校生徒のみんな、全員で盛り上がるう!!』と意気込みを見せた。

燃えろ 学校祭

黒組
黒組総団長の上出覚士さんの目標は、「最低でも応援優勝。」理由は、応援が「二番力が入る」から。毎年上位に食い込んでくる黒組らしいコメントだ。



上出覚士さん(3-1)↑
黒組総団長の上出覚士さんの目標は、「最低でも応援優勝。」

一、二年生には、「ちゃんと俺たちの言うことを聞いて、ついて来てほしい」と総団長らしい力強い言葉を送った。最後に、色全体へのメッセージとして「楽しく行きましよう」と爽やかに答えてくれた。

青組
青組総団長の笹川雅大さんの目標は「かつこよさ」



笹川雅大さん(3-2)↑
青組総団長の上出覚士さんの目標は、「かつこよさ」

だ。昨年に引き続き、今年の青組も「かつこよく」体育祭を盛り上げてくれそう。

一、二年生のメッセージを聞くと、「まじめにやろう」と、学校祭全てにおいて、真剣に取り組もうとする姿勢が感じられた。最後に、色全体のメッセージとして、コメントはもらえなかったが、その答えの裏には静かに燃える青組の闘争心が感じられた。

紫組
紫組総団長の萩原佑介さんの目標は、「みんな楽しく」と笑顔で答えてくれた。



萩原佑介さん(3-3)↑
紫組総団長の上出覚士さんの目標は、「最低でも応援優勝。」

一、二年生へのメッセージを聞くと、「楽しもうぜ」と、これまた明るい答えが返ってきた。最後に、色全体へのメッセージを聞くと、「もっと楽しもう」と楽しむことに全力投球しているようだ。全ての質問に「楽しむ」という答えが返ってくることから、紫組全体が、わきあいあいとした雰囲気だということが伺える。

赤組
赤組総団長の上坂亮太さんの目標は、「二連覇」。昨年、十三年ぶりに体育祭総合優勝を果たした赤組。優勝を勝ち取った赤組としては、是非つかみ取りたい目標だ。



上坂亮太さん(3-4)↑
赤組総団長の上坂亮太さんの目標は、「二連覇」。

一、二年生へのメッセージを聞いても「自分たちについて来てほしい。また一緒に優勝をめざそう」と優勝を確実に取る勢いが伝わる力強い答えだ。

最後に、色全体のメッセージは、「絶対に二連覇」と応援にかける思いは強い。今年の赤組も、目が離せなくなりそう。

ゲート「なぜ何?」

生徒会役員でゲートの責任者でもある市橋玲奈さん(3-1)に、ゲートについて突撃インタビュー。

1・ゲートのイメージは何?

今年のテーマの『武工繚乱』にあやかって、咲き乱れるイメージと武工生徒の力強さのイメージを合わせたもの。

2・ゲートのこだわった点は?

「人の腕」をリアルにしたところ。

3・ゲートの制作期間は?

リアルな部分に、こだわって作ったので一ヶ月程度かかった。

4・ゲートを作る中で大変だったところ

今年のメインテーマの『武工繚乱』と『The dope man's』を組み合わせるのが大変だった。

どんな作品になったのか、今から楽しみだ。ぜひ、体育祭のゲートにも注目してほしい。



→ゲートの1部。
全体像は、体育祭にてお披露目